



令和5年3月15日四国電力株式会社

伊方発電所3号機 燃料検査ピットにおける水中テレビカメラの不具合について

伊方発電所3号機(定格電気出力89万キロワット)は定期検査中のところ、本日3時50分頃、燃料取扱棟内での燃料取り出し作業中に、燃料集合体の外観を確認するための水中テレビカメラ(燃料検査ピット内)の映像が暗くなり見えなくなりました。

このため、燃料取り出し作業を一時中断し、調査した結果、水中テレビカメラに入る 光量を調整する装置に不具合があることを確認しました。

その後、当該装置を調整して正常に動作することを確認したことから、8時35分に 燃料取り出し作業を再開しました。

引き続き原因を詳細調査します。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありませんでした。

以上